

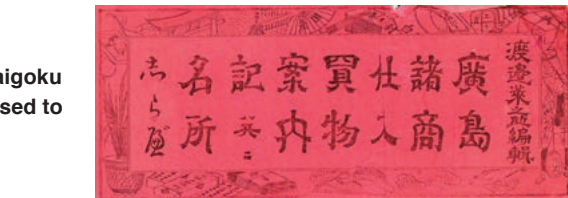
賑 西国街道を盛り立てた 活氣溢れる粋な広島商人たち

A Vivid Depiction of Merchants in the Meiji Period



明治時代の買物案内記を覗いてみると、当時の西国街道の生き生きとした広島商人の姿が見えてきます。人力車が走り回り、たくさんの品物が並ぶ商店の前を忙しそうに行き交う商人たち。本通りにあった和菓子屋さんの軒先では、店先に座ってお饅頭をほおばる町人たちの姿も。京橋のたもとの醤油・味噌屋には味噌樽が並んでいます。仏だん通りにはもちろん今と変わらぬ仏具屋さん。呉服屋さんにはずらりと反物の棚が見えます。船からも品物を運ぶことができた西国街道は、物流の中心であり、食や芸術・文化の最先端が揃う場所でもありました。

This merchant guide book from the Meiji period (which followed the Edo period) shows the continued importance of the Saigoku Kaido as a route which brought prosperity to the people of Hiroshima. The tiger figure is the symbol of a sweets shop that used to be located along Hon-dori. People are enjoying sweets just out of pot at the shopfront. The shop beside the bridge has a lot of miso and soy sauce barrels inside. There used to be many shops selling Buddhist altar fittings along Butsudan-dori; Butsudan means Buddhist altars.



広島諸商仕入買物案内記二名所しるべ(資料所蔵・画像提供:広島市郷土資料館)

巡 川をめぐれば、西国街道が見えてくる

The Saigoku Kaido and the Rivers

猿猴川に京橋川、元安川に本川。西国街道をたどる旅は、ともに広島を支えてきた川通りの旅でもあります。舟運の邪魔にならぬよう定期的に行われていた川ざらえですが、文久2年には、お祭り「砂持加勢」としても行われました。川からかつぎあげた砂を運びながら、人々が山車を引き活き活きと歩いていた同じ街道を、私たちは今日も歩いているのです。

Starting at Hiroshima Station, if you continue walking west along the route of the old Saigoku Kaido, you will cross a total of four rivers before you leave the city. Towards the end of the Edo period, a festival called Sunamochi Kasei was held to celebrate the periodic dredging of the river bottoms, which had to be done to ensure they remained navigable.



ひろしまの歴史が分かる散策マップ

ひろしま八区ぐると散策「みち」めぐり

広島市企画総務局が発行している《ひろしま八区ぐると散策「みち」めぐり》にも西国街道が紹介されています。

ぐると散策 検索

広島市企画総務局コミュニティ再生課
〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6-34
Tel.082-504-2125 Fax.082-504-2029

製作 広島仏だん通り活性化委員会

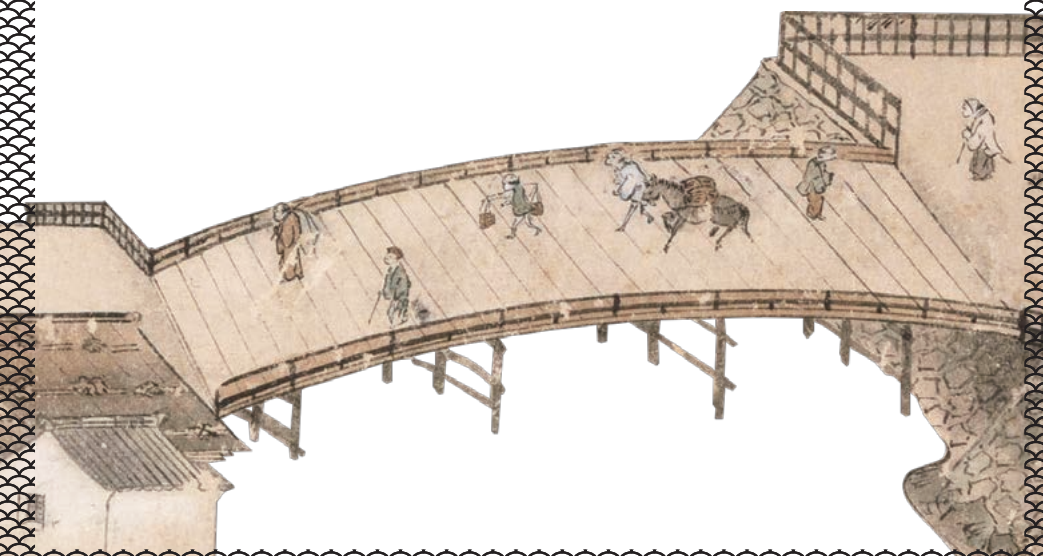
本書は、広島仏だん通り活性化委員会の承諾を得て、広島市が印刷をしたものです。
This document was printed by the City of Hiroshima with consent from the Hiroshima Butsudan-dori Ave. Revitalization Committee.
市政資料登録番号 広C2-2019-443

西国街道

文化の大動脈

The Saigoku Kaido Highway
the Road that Led to Hiroshima's Prosperity

渡るうよ
歩こうよ
賑わいと
人をつないだ
西国街道
いまむかし



知 広島文化と流通を支える広島の大動脈 西国街道

The Saigoku Kaido Highway—the Road that Led to Hiroshima's Prosperity



四國五郎 作「猿猴橋新春(えんこうばししんしゅん)」

「西国街道(近世山陽道)」を知っていますか?

時は庶民の文化が花開いた江戸時代。京都と太宰府をつなぐ、人々が忙しく行き交う街道がありました。その距離なんと、約650km。下関から関門海峡を越えて九州に入るこの街道は、各藩の大名が將軍の命に従ってほるばる江戸まで「参勤交代」した道であり、日本橋から長崎をつなぐ重要な幹線道路の一部でもありました。様々な身分の人々に賑わった西国街道は、文化と交易の大動脈として広島の人々を支えていたのです。

時は今。私たちがショッピングをしたり、美味しいものを食べたりしている広島を中心地も、実はこの西国街道。駅から猿猴橋・京橋を渡り、本通、そして平和記念公園へ。江戸の昔からこの同じ場所で、人々は街の賑わいを創り続けてきました。

広島を足元から見守り続け、広島のあるゆる今昔を知っている、西国街道。今度は、私たちが知る番です。



四國五郎 作「京橋御供船(きょうばしおともんせん)」

During the Edo period (1603 – 1868), the government constructed highways (*kaido*) in an effort to improve Japan's domestic economy. The old kaido which connected Shimonoseki to Kyoto was called the *Saigoku Kaido*. This Saigoku Kaido was an important route for the period because it connected the Nihonbashi business district in Tokyo (Edo) to Nagasaki, the only port where foreign trade was permitted. The Saigoku Kaido also connected Hiroshima with Tokyo, and served as a distribution channel for merchandise produced in Tokyo, and as a channel for the distribution of the culture of Tokyo as well. Today, Hiroshima's downtown lies atop the footprint of the old Saigoku Kaido, stretching from Hiroshima Station to the Peace Memorial Park.



広島城下絵屏風に見る 生き生きと町人が暮らす 川の城下町 広島

The Castle Town Hiroshima: a Beautiful City of Rivers and Bridges

スマートフォンやカメラで広島をパチリ。そんな今から遡ること200年前の広島を、当時の画家による絵屏風の中に、現代の写真と変わらないほど生き生きと見ることができま。毛利輝元が建てた広島城を中心に城下町となった広島ですが、実は当時の西国街道は広島城下より北を通っていました。しかし毛利氏から広島城を引き継いだ福島正則は、広島城下を西国街道が東西に貫通するように移設。西国街道ぞいにあったお屋敷も移動させ一帯を町民の居住区にしました。この時の賑わいが今の広島を賑やかさに息づいているというわけです。

西国街道は町民も商人も、武士も大名も、当時のあらゆる身分の人たちが利用していた大切な道路でした。道を行き交う人たちの姿を見ればそれは一目瞭然。刀を差した武士に、荷物を馬に乗せて運ぶ商人、立ち話をする町民たち、ずらりと軒を並べた店の中には職人、と現在と変わらない生き生きとした広島を暮らす目にすることができます。

An old painting on a folding screen portrays the city as the artist envisioned it in the Edo period. Here you can see a bustling center of commerce, with people from different castes clearly represented: the Nobles, the Samurai, the Peasants, and the Chonin (merchants, craftsman and artisans).



広島らしい「川しるべ」で西国街道をご案内しましょう。屏風の右端に見える松が猿猴川の目印。現在の駅南、松原町です。その下の猿猴橋を西へ進むと見えてくるのが、京橋川。京橋を渡り、街道沿いに曲がった向こうの小さなお堀は現在の堀川町です。そして、その西に見える城壁沿いの大きなお堀が八丁堀。その先の賑やかなところが現在の本通り。屏風に描かれたたくさんの川やお堀が、広島が今も昔も水運によって発展してきた「川の城下町」であることを教えてくれます。

The pine trees at the right end of the screen mark the Enko River. The bridge across that river is the Enkobashi Bridge, now located to the front-left of Hiroshima Station. Traveling down the Saigoku Kaido to the West, the next bridge we encounter is the Kyobashi Bridge. The castle moat ahead is Hatchobori (Bori [Hori] means "moat"). The wide, lively street across Hatchobori is the present Hondori, which is still the busiest downtown shopping area in Hiroshima city.



From this folding screen we can see an illustration of how the Saigoku Kaido was the lifeline for the people of Hiroshima, and how the rivers and the bridges played important roles in the development of the city of Hiroshima.



広島城下絵屏風（広島城蔵）

「広島城下絵屏風」(複製)は広島城でご覧いただけます。

公益財団法人広島市文化財団 広島城
公開時間／◎9:00～18:00(3月～11月)◎9:00～17:00(12月～2月)
※入館は閉館30分前まで
入場料／大人370円／シニア・高校生180円／中学生以下無料
〒730-0011 広島市中区基町21番1号
TEL 082-221-7512 FAX 082-221-7519



西国街道

文化の大動脈